

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2004-41476(P2004-41476A)

【公開日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2002-203894(P2002-203894)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 5/055

G 0 1 R 33/28

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 3

A 6 1 B 5/05 3 8 2

G 0 1 N 24/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月1日(2005.7.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

静磁場内に置かれた被検体に、所定のパルスシーケンスに則り高周波磁場及び傾斜磁場を印加するとともに、前記被検体から発生する磁気共鳴信号を計測する撮像手段と、前記磁気共鳴信号を処理し、前記被検体の所望の組織を画像化し表示する信号処理手段と、前記撮像手段及び信号処理手段を制御する制御手段とを備えた磁気共鳴イメージング装置において、

前記制御手段が行う制御は、(1)複数の時系列画像を取得するダイナミック3次元計測のためのパルスシーケンスを、位相エンコード又はスライスエンコードを付与しないで実行し、連続的に画像の再構成と表示を行い、(2)本計測開始時点の入力を受け付け、(3)本計測開始時点の入力と同時に前記3次元計測のためのパルスシーケンスを位相エンコード及びスライスエンコードを付与して実行し、連続的に画像の再構成と表示を行い、(4)前記本計測開始直後の画像の再構成において、それ以前のパルスシーケンスの実行により取得したデータを含むデータを用いて画像再構成することを含む磁気共鳴イメージング装置。

【請求項2】

請求項1に記載の磁気共鳴イメージング装置であって、前記制御手段は、前記(3)において、位相エンコード又はスライスエンコードを付与しないで実行したパルスシーケンスで取得したデータの信号値に基づき前記本計測開始時点を指示することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。